

## 26年度 議会報告会の反省点等

(各会派からの意見について、11月14日開催の広報広聴委員会でのとりまとめ)

※反省点等で、文頭の無印は「現状で良とする」もの、「▲」印は改善等のもの。

### 1 日程について

10月上旬に、期日の間を置かずに（日程を詰めて）開催したが、このことについてはどうか。

(会派のぞみ)

- ・ 集中的に行ったことはよかった。
- ・ 土日を空けて（水、木、金、月、火、水にして）くれたことがよかった。

(市民パワー)

- ・ 今回の日程で良とする。
- ・ ▲個別地区開催の要望があれば、10月15日位までの中で、1年間の議会日程に組み入れる。

(日本共産党)

- ・ 長年行ってきて、この日程になったことを考慮すると、この日程でよい。
- ・ 水木金、月火水と行ったこともよかった。

(会派みらい)

- ・ 今回集中的に行ったことはよかった。

(公明党)

- ・ 今年の日程でよかった。

### 2 ブロックごとの開催形式及び実施する回数について

各地区ごとの開催などより小さな区域を対象とした開催を望む声があるが、現在の6ブロックで開催する形式を改めることについてはどうか。

また、現在は各ブロックごと1年に1回ずつの開催だが、この回数についてはどうか。

(会派のぞみ)

- ・ 今までどおりでよい（年1回）。
- ・ ▲まちづくり委員会の意見を聴き、中部ブロックを分ける必要を検討してはどうか。

(市民パワー)

- ・ ▲ブロックごとの開催を基本とする。ただし、個別開催の希望があれば受入れる。さらに、団体・企業等の開催希望があれば応じる。

(日本共産党)

- ・ 全議員が参加して行うのであれば、現在の形が好ましい。
- ・ 6ブロックでよい。

(会派みらい)

- ・ ▲よりきめ細かな対応とするため、各地区（20地区）で行うことを検討されたい。その場合も共通のテーマで行った方がよい。

(公明党)

- ・ 現状で可。年1回が精一杯ではないか。

(正副議長)

- ・ 開催形式は研究してきた結果のものであり、現状でよいのでは。

### 3 議員の参加体制について

23人全員が参加する形式で行っているが、班分けをして対応することについてはどうか。班分けをすればしたらどのような分け方がよいか。

(会派のぞみ)

- ・ 現状で可。
- ・ ▲ただし、各常任委員会でどう判断するか意見を聴くことが大事。希望等あれば検討する。

(市民パワー)

- ・ ▲現状で良しとする。なお、形式を変更する場合は班編成も考えられる。

(日本共産党)

- ・ 当面、現在の形がベストではないか。

(会派みらい)

- ・ ▲各地区で実施する場合は、少人数の班分けとなることが想定される。その場合は期数を勘案するなどが必要となる。

(公明党)

- ・ 現状で可。

### 4 会の形式について

全体会→分科会→全体会 という流れはどうか。  
また、常任委員会ごとの分科会としていることについてはどうか。

(会派のぞみ)

- ・ ▲全体会は短くする。
- ・ ▲分科会は長くする。
- ・ ▲全体会は今までどおりとするが、議長でなく広報広聴委員長が分科会で出された意見を報告する。

(市民パワー)

- ・ ▲現在の形式で良しとする。ただし、委員会での調査研究結果を報告する。

(日本共産党)

- ・ 現在の形でよい。

(会派みらい)

- ・ ▲流れとしてはよいが、分科会の議案報告は主なものとどめるなど工夫が必要。

(公明党)

- ・ 現状で可。

### 5 分科会について

(1) テーマの設定はどうだったか。

(会派のぞみ)

- ・ テーマ(調査の取組)については真剣に取り組んだ。
- ・ 勉強会も行った。反省も各常任委員会で行う必要がある。
- ・ ▲テーマを選択してもらうことも重要である。

(市民パワー)

- ・ ▲議会が決めたテーマ設定形式(従来)と、何でも意見交換会の複合形式で開催してはどうか。

(日本共産党)

- ・ 第3分科会が選択式にしたのはよかった。
- ・ ▲地区によって選んでもらうのもよいのでは。

(会派みらい)

- ・ ▲テーマについて各委員会で学習、意思統一が必要。

(公明党)

- ・ ▲テーマの設定が難しいところもあったのではないか。
- ・ 第3分科会のテーマ設定の方法については、産業建設委員会の検討結果を聴いて考えたい。

(正副議長)

- ・ ▲第3分科会でのテーマを選んでもらうというのはよかったが、全ての分科会においてよいとはいえないかもしれない。

(2) 過去に出された意見等に対する報告はできていたか。

(会派のぞみ)

- ・ 各自治振興センターへ必ず報告している。

(市民パワー)

- ・ ▲全てについては行われていない委員会もあった。
- ・ ▲課題設定した委員会の調査研究活動を報告したらどうか。
- ・ ▲全ての報告でなく、ポイントになる点に絞ってで、よいのではないか。

(会派みらい)

- ・ 報告はできていた。
- ・ ▲更に資料で説明できればよい。

(公明党)

- ・ ▲昨年の調査研究テーマの取組について報告してはどうか。

## 6 資料について

今回の資料について改善すべき点はあるか。どのように改善すべきか。

(会派のぞみ)

- ・ ▲各常任委員会で資料については工夫すべきである。
- ・ ▲補助資料も必要
- ・ ▲説明を簡単に、意見交換を多くできるように。

(市民パワー)

- ・ 現状で良とする。
- ・ ▲各常任委員会ごとに必要なものを用意することが大切。

(日本共産党)

- ・ ▲議会だよりを資料にしたのはよかったが、9月議会の部分は箇条書になってしまい、分かりづらかった。

(会派みらい)

- ・ ▲主な議案を浮き彫りにするなど工夫が必要。

(公明党)

- ・ ▲意見交換に必要な資料だけでよいのではないか。
- ・ ▲資料作りに事務局で協力してほしい。

## 7 その他

その他の議会報告会についての反省点、御意見等をお願いします。

(会派のぞみ)

- ・▲議会報告会を何のために行っているか、もう一度原点に戻り何を起点として政策提言していくか考える必要がある。

(市民パワー)

- ・▲必要があれば、前日の反省等を出し合う委員会を翌日午後5時30分頃から(次回の実施前に)行い改善等に取り組む。

(日本共産党)

- ・第2分科会については、事前の学習会を行って臨んだことにより、様々な話に対応でき、よかった。

(会派みらい)

- ・▲各常任委員会の反省が必要(分科会を常任委員会で実施していることから)
- ・▲「議会報告会」でなく「意見交換会」とした方がよいのではないか。

(公明党)

- ・第2分科会の事前の準備の取組はよかった。

(正副議長)

- ・▲課題設定についての報告をきちんとすべき。
- ・▲意見交換については、いきなり市民の意見を聴くのではなく、テーマについて議会側の考えを示したうえで聴くべきでは。